

# 北斎かわらばん

すみだ北斎美術館ニュース

第7号

平成21年(2009年)12月発行



## 『すみだ』と『北斎』

— 北斎の描いた

『すみだ』③ —

葛飾北斎が本区の冬の情景を描いたものの中に「雪月花 隅田」という作品があります。静寂な雪景色の隅田河畔、月が冴える京の淀川、桜咲き誇る奈良・吉野山の三名所を選んで描いたシリーズものの一つです。

この「雪月花 隅田」は、画面の上下を濃い藍色とすることで、夜が明け切らない早朝の雰囲気を表し、中央の森の中に木母寺や料理茶屋を、また、右下には水神社と呼ばれた隅田川神社を配して厚い雪を積もらせた冬の情景は、見る人にそこはかとなない郷愁を感じさせます。

現在では想像もできませんが、江戸時代を通して木母寺の周辺は人家が少なく、池や「水神の森」など

のほかは、一面に水田が広がっていました。

江戸時代の初期、徳川三代将軍家光や四代将軍家綱は、広々としたこの地でよ

く鷹狩りを行いました。その際の休憩所であった「隅田川御殿」がこの木母寺の隣に

あり、将軍家綱は、「隅田川御殿」のある木母寺の門前か

ら寺島村の入口(現在の白鬚橋辺り)まで桜の木を植えさせました。このことがのちに、八代将軍吉宗によって墨

堤に桜が植ええられるきっかけとなります。その後「隅田川御殿」は取り壊され、替わって料理茶屋が建てられました。

この作品には静寂さの中にも、わずかながら動的要素も描かれています。

画面手前の舟には網を仕掛けている人物が描かれ、漁の最中であることを示していますし、中央には雪の中をいく二人の参詣者らしき人が描かれています。左下の都鳥らしき鳥もアクセントとなっています。



「雪月花 隅田」

【発行】  
墨田区民活動推進部  
文化振興課  
北斎美術館開設担当  
(墨田区役所1階)  
☎ 03-5608-6115  
【編集協力】  
(財)墨田区文化振興財団  
北斎担当

すみだ

すみだ

## 北斎の魅力を映像で紹介

### DVD「北斎のまなざし ～すみだを描く～」

北斎は「六歳の頃から物の形を描き写す癖があった」と、自ら記しています。以降、九十歳で亡くなるまで、ひたすら画業に打ち込み、描いた作品は、数万点に上ると言われています。絵を描くことに対する情熱は、私たちの想像を絶するものがあります。

このDVD「北斎のまなざし ～すみだを描く～」では、絵とひたむきに向き合う北斎の姿や、すみだと北斎との関わりなどについて、作品をふんだんに用いて紹介しています。



このDVDには、楽しみながら北斎とすみだについて知ることができるよう、様々な工夫を凝らしています。

#### ◆浮世絵が動く！

現代のアニメーション技術により、浮世絵が動きだします。作品に描かれた世界が、リアルに迫ります。

#### ◆時を越えて！

浮世絵に描かれた場所は現在どうなっているのか。作品を通して、江戸時代と現代とをつなぎます。

#### ◆案内役を務めるのは？

案内役は北斎を良く知る書店の店員。どんなエピソードが飛び出すでしょうか。

#### ◆ハイビジョン映像で北斎作品を紹介！

このDVDはハイビジョンで撮影しています。北斎作品の迫力や繊細さを、細部まで鮮明に再現しています。



本編では、北斎の作品を現在の風景と対比させながら紹介

#### ◆見たい場面がすぐ見られる！

八つのテーマを直接選んで、お目当ての場面がすぐに見られます。

- 一 プロローグ
- 二 北斎とすみだ
- 三 北斎を育んだ江戸
- 四 浮世絵に命を懸ける
- 五 隅田川漫遊
- 六 技法への挑戦
- 七 創作への飽くなき意欲
- 八 風景画の開拓者・北斎

#### 【「北斎のまなざし」について】

収録時間 十九分

対応言語 日本語・英語

※ 区立図書館や文化振興課北斎美術館開設担当で貸出を行っています。

#### 【問い合わせ】

墨田区区民活動推進部

文化振興課北斎美術館開設担当

☎03・5608・6115

#### 埋蔵文化財発掘調査を実施

平成二十二年一月四日～三月十九日（予定）、すみだ北斎美術館の建設地である緑町公園テニスコートA・B面（亀沢二丁目7番）で、埋蔵文化財発掘調査を実施します。

この場所は、北斎かわらばん第5号で紹介したとおり、弘前藩（津軽家）の上屋敷跡と考えられることから、文化財保護法の規定に基づき、建築着工に先駆けて発掘調査を行うものです。